

# 千葉県立鴨川青少年自然の家食堂等業務委託仕様書

## 1 件名 千葉県立鴨川青少年自然の家食堂等業務委託

## 2 委託業務の目的

千葉県立鴨川青少年自然の家利用者へ安全安心な食事等を安定して以下の(1)～(4)を提供することにより同青少年自然の家での体験活動等が一層有意義なものとする。

- (1) 食事提供業務
- (2) 野外炊事材料提供業務
- (3) 食物アレルギー等の対応
- (4) その他

## 3 履行場所

千葉県立鴨川青少年自然の家 (鴨川市太海 1 2 2 - 1)

## 4 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 3 年 3 月 3 1 日まで (5 年間)

## 5 契約書

別添 千葉県立鴨川青少年自然の家食堂等業務委託契約書 (案) 及び機密保持契約書 (案) による。

## 6 業務内容等

### (1) 食事提供業務

ア 食堂従事者のうち、調理に従事する者は調理師法に規定する調理師免許を有する従業員 (調理従事者) とする。ただし、下処理については調理師以外による補助も可とする。献立は、栄養士の資格を有する者の指導・助言に基づき受託者が作成したものを使用する。

イ 衛生管理等については、以下の法律等を遵守し、衛生管理の徹底に努める。

- ① 「食品衛生法」 (昭和 2 2 年法律第 2 3 3 号)
- ② 「大量調理施設衛生管理マニュアル」 (平成 9 年 3 月 2 4 日衛食第 8 5 号別添)
- ③ 「学校給食衛生管理基準」 (平成 2 1 年 3 月 3 1 日文部科学省告示第 6 4 号)
- ④ 大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき定期的な健康診断及び月 1 回以上の検便を実施する。
- ⑤ 清潔な衣類の着用、調理前・用便後の手洗い、厨房 (排水路・かごを含む) ・食堂の清掃 (ガラス・ブラインド・照明器具、備品含む) の徹底を励行する。
- ⑥ その他関係法令等を遵守し、食中毒等の予防に努めなければならない。
- ⑦ 保存食は、原材料及び調理済み食品を 2 週間以上冷凍保存 (－2 0℃以下) にする。
- ⑧ 食堂内での嘔吐物の処理は、ノロウイルス対策の対応とすること。
- ⑨ インフルエンザ等の感染症拡大防止のための具体的な対策を実施すること。

### ウ 業務各行程の作業方法

「大量調理施設衛生管理マニュアル」、「学校給食衛生管理基準」に記載されている衛生管理等の徹底を図るための方法にしたがって作業を行う。

エ 調理器具や食器等はその日のうちに洗浄する。

オ 食事の提供については次のとおりとする。

- ① 4月～6月 7月～9月 10月～12月 1月～3月 の献立を作成し、鴨川青少年自然の家所長の承認を得る。
- ② 食堂利用者が20名以上の場合はバイキング形式とする。
- ③ 厨房最大調理数は400食。
- ④ 原材料表を作成する。

カ 食事の提供時間は次のとおりとする。

朝食 午前7時00分から午前9時00分まで

昼食 午前11時30分から午後1時30分まで

夕食 午後5時から午後7時まで

※朝食・昼食・夕食は上記時間を基準とするが、利用者が多い場合は若干変更することがある。

キ 食事の料金は、事前に鴨川青少年自然の家所長の承認を得る。

ク 原材料の購入に当たっては、食事代の40%程度を充当するものとする。

ケ 地産地消（千産千消）につとめ、なるべく千葉県で生産された食材を使用する。

なお、食材購入にあたっては、地元業者からの購入に配慮する。

コ 業務の記録は、「大量調理施設衛生管理マニュアル」、「学校給食衛生管理基準」に基づき、記録する。

サ 食事の注文数は次のとおりとする。

- ① 食事関係申込書（第3号様式）が、鴨川青少年自然の家に団体別提出期限（概ね6週間前）までに提出されるので、その後受託者へ通知する。なお、予約受付の状況により短縮することがある。
- ② その後、利用日初日の1週間前までに食事最終確定届（第8号様式）が鴨川青少年自然の家へ提出され、その確定届により調理数等が確定されるので、確定調理数等を受託者へ通知する。
- ③ 食事最終確定届の提出後に変更があった場合は変更後のものを受託者へ通知する。

シ 配食サービス

- ① バイキング形式での提供時に食材コーナーが混み合った場合は、ご飯、汁物は受託者が個別盛りを行う。
- ② 味噌汁、スープは、65℃以上70℃以下とする。
- ③ バイキングは温かい物は温かく、冷たい物は冷たく提供する。
- ④ バイキング形式ではなく、個人毎に盛り付けを依頼された場合は対応すること。
- ⑤ 貸し切り団体の場合は、特別メニューによる食事提供依頼があった場合は対応することができる。なお、特別メニューの価格は、事前に鴨川青少年自然の家所長の承認を得ること。

ス 制服の着用等

調理員・その他スタッフには職種に応じて清潔な調理衣等（調理衣、エプロン、マスク、帽子、履物）を着用させ、受託者による調理業務従事前の健康管理を行うこと。

セ 検食

食事の検食は、鴨川青少年自然の家職員が行う。その費用は食事料金の4割を委託者が負担する。（野外炊事除く）

検食の結果、異状があった場合は、食事の作り替え、食事の提供の停止等を受託者に命じることがある。

ソ 食堂及び厨房の塵芥処理費（廃油は除く）は委託者の負担とする。

タ 年間調理実績

別添 調理数等概要（令和7年度）による。

（2） 野外炊事材料提供業務

ア 野外炊事材料の種類及び料金は、事前に鴨川青少年自然の家所長の承認を得る。

イ ご飯の提供

飯ごう用白米に代わり、ご飯の提供依頼があった場合は対応すること。

ウ 追加食材

追加食材の希望がある場合は対応する。

（例）ウインナー、牛カルビ、おにぎり等

追加食材の種類及び価格は事前に鴨川青少年自然の家所長の承認を得る。

エ 野外炊事の実施期間

昼食は通年実施、夕食は4月～9月までとする。

オ 地産地消（千産千消）

食事に準じる。

カ 原材料表を作成する。

キ 野外炊事の注文数は次のとおりとする。

- ① 食事関係申込書（第3号様式）が、鴨川青少年自然の家に団体別提出期限（概ね6週間前）までに提出されるので、その後受託者へ通知する。
- ② その後、利用日初日の1週間前までに食事最終確定届（第8号様式）が鴨川青少年自然の家へ提出され、その確定届により食材数等が確定されるので、確定食材数等を受託者へ通知する。
- ③ 食事最終確定届の提出後に変更があった場合は変更後のものを受託者へ通知する。
- ④ 日帰り研修で、野外炊事メニューの注文があった場合は、通常の野外炊事と同様とする。

ク 野外炊事中止の場合の対応

- ① 雨天等において、利用者が野外炊事を中止した場合は、その材料を使用し厨房で調理し提供すること。
- ② 利用者の判断時間は、当日、昼食は午前9時 夕食は午後1時までとする。

ケ 野外炊事用薪

野外炊事用薪は、委託者が用意し、使用した分を利用者に請求する。

コ 野外炊事食材等の受渡し等

- ① 食材は、食堂入口に委託者が設置した冷蔵庫に、団体名を表示して保管すること。（常温保存の野菜類除く）
- ② 食材と食器（使い捨て）等を、班別に用意し、団体名を表示すること。

サ 野外炊事メニューの追加

野外炊事メニューを追加する場合は、内容及び価格を鴨川青少年自然の家所長の承認を得て追加すること。

シ 年間提供実績

別添 調理数等概要（令和7年度）による

(3) 食物アレルギー等の対応について

ア 食物アレルギー等の対応については、鴨川青少年自然の家が利用団体からの相談窓口になる。受託者は、鴨川青少年自然の家にできる範囲で協力するものとする。

イ アレルゲン除去等

- ① 調理過程で除去できる場合は対応する。滞在期間中のバイキングメニュー内での差し替えができる場合はできる限り対応する。
- ② 除去食品が多い場合や、ハンバーグなどの規格食品を使用したメニューで、アレルゲンを除去することが困難な場合は、対応を拒否することができる。
- ③ 利用者がアレルギーの対応食として持参した食品の加温などに協力すること。

ウ 野外炊事対応

野外炊事メニューにおいても、食物アレルギー対応を講じること。

エ 食物アレルギー対応委員会

受託者の食物アレルギー対応責任者・厨房責任者が参加すること。

オ 食物アレルギー研修会

鴨川青少年自然の家に勤務する全職員及び受託者の食物アレルギー責任者が参加のこと。

## カ 咀嚼障害・ハラール食等への対応について

### (ア) 咀嚼障害等への対応

- ① 刻み食の提供を依頼されたときは、フードプロセッサー等の貸与で対応する。利用者が機材を持参した場合は協力すること。
- ② 自力で食事の盛り付けができない場合は、事前に盛り付けを行うなど配慮すること。
- ③ バイキング形式ではなく、個人毎に盛り付けを依頼された場合は対応すること。
- ④ 別室での食事を依頼された時は、鴨川青少年自然の家と相談し対応する。

### (イ) ハラール対応

相談を受けた場合は、対応できる範囲内で対応する。

### (ウ) ベジタリアン等への対応

相談を受けた場合は、対応できる範囲内で対応する。

## (4) その他

### ア 光熱水費等の負担

#### 電気・ガス・水道料金の負担

- ① 光熱水費は使用分（子メーター設置）を月ごとに受託者が負担する。
- ② 厨房機器・食堂内の調理・保管機器にかかる電気料は受託者が負担する。
- ③ 調理等に使用する、電気・ガス・水道は、受託者が負担する。
- ④ 節電及び節水に努めること。

### イ 備品等の管理及び修理費等の負担

#### (ア) 設備・備品の管理

- ① 善良な管理者の注意をもって設備や備品等を管理する。
- ② 食器等の破損や機器等が故障した場合は報告すること。

#### (イ) 貸与備品・設備の修理負担区分

- ① 経年劣化や機器の不具合等による故障は委託者の負担とする。
- ② 使用方法の誤りや過失による故障は受託者の負担とする。

#### (ウ) 破損食器の補充費負担区分

- ① 利用者が破損した食器の補充は委託者の負担とする。
- ② 経年劣化等による補充は委託者の負担とする。

### ウ 会議・委員会等への出席

下記会議等に関係者が出席すること。

#### ① 食事の提供に関する会議

受託者の食堂業務責任者・厨房責任者が参加すること。

#### ② 食物アレルギー対応委員会

受託者の食物アレルギー対応責任者・厨房責任者が参加すること

#### ③ 食物アレルギー研修会

鴨川青少年自然の家に勤務する全職員及び受託者の食物アレルギー対応責任者が参加のこと。

④ その他研修会

鴨川青少年自然の家所長が特に必要と認めた場合は受託者側の関係職員が参加のこと。

エ 研修等

受託者は衛生管理、調理技術等の資質向上を図るため定期的な研修を計画し、実施後速やかに鴨川青少年自然の家に報告書を提出すること。

オ 大規模地震等による災害が発生し利用者が帰宅困難になった場合の対応について  
地震等の災害により、利用者が帰宅が困難になった場合は、食事について配慮すること。

カ 個人情報及び守秘義務について

① 機密保持契約書（案）（別添）による。

② 個人情報とは、個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述などによって特定の個人を識別できるもの（他の情報と容易に照合することができ、それによって特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）

キ キャンセル対応

①食事・野外炊事等のキャンセル

キャンセルは、入所日の1週間前までとする。

②大規模地震や台風等による交通遮断等、利用者の責めによらないキャンセルの対応

大規模地震や台風等による交通遮断等、利用者の責めによらないキャンセルが生じた場合は、極力返金対応を考慮すること。なお、台風など事前にキャンセルが予測されるような場合は、状況に応じ鴨川青少年自然の家の把握している利用団体の情報を確認して、食材購入等の時期を配慮すること。

ク その他

① 食堂職員及び食材搬入の経路は、キャンプ場前通路からガス庫前までの経路とする。構内は安全運転とすること。

② 食堂職員の駐車場は、厨房入り口付近、台数が多く駐車できない場合は、キャンプ場北側駐車場とする。

③ 食堂を切り絵等の研修に使用することがある。

④ 鴨川青少年自然の家主催（共催）事業及び千葉県事業への協力をする事。

⑤ 利用の手びき・事業計画作成時には協力すること。

⑥ 厨房責任者を選任すること。

⑦ 労働関係法を遵守すること。

⑧ 損益計算書の様式は任意とする。